

# あいち歴史さんぽ

県立高等学校などの歴史的建造物を紹介します。



旧講堂



正門（登校風景）

## 愛知県立津島高等学校（旧愛知県立第三中学校）旧講堂及び正門

愛知県立津島高等学校は、津島市の南西部、名鉄津島駅の南西 2 km、津島神社の南 1.5 km に位置し、前身が明治 33 年(1900)に愛知県立第三中学校として開校した県内有数の伝統校です。第三中学校は大正 9 年(1920)の火災により校舎の大部分を焼失しており、旧講堂は津島中学校時代の 大正 12 年(1923)に建て直されたものです。設計は県営繕課が担当、鉄筋コンクリート造 2 階建て一部平屋建て、寄棟造、棧瓦葺きの建物で、校地の南西に建っています。外壁はモルタル仕上げ、2 段に配置された窓と柱が左右対称に並び、建物東面にある正面入口は北側に寄せられています。なお、内部は昭和 51 年と平成 2 年(開校 90 周年記念事業)の改修により、西側約 3 分の 1 を 2 階建てとして同窓会資料展示室を整備しています。

正門は、旧講堂と同時期に校地の南辺中央に建設されています。間口約 9.3m、4 基の方形の門柱を立て左右に脇門を付けています。門柱は鉄筋コンクリート造洗い出し仕上げで、高さは中央柱が約 3.4m、脇柱が 2.9m、柱礎、柱身、柱頭の 3 つで構成されています。

大正時代の学校建築として今も歴史と伝統が息づく津島高等学校の旧講堂と正門、卒業生にとって周囲の松林とともに心の拠り所として大切にされています。

## 旧津島信用金庫本店（津島市観光交流センター）

旧津島信用金庫本店は、昭和 4 年(1929)に名古屋銀行津島支店として建てられた鉄筋コンクリート造 2 階建ての国登録有形文化財建造物です。津島市の西部、名鉄津島駅の西 0.7 km、津島神社の東 0.4 km に位置し、現在は市の観光交流センターとなっています。



全景（北東から）



本町の町並み

外観は、西洋建築のルネサンス様式を基調としながらも装飾を簡素化した建築様式で、1 階正面中央に玄関を配し、入口両側に双子柱を飾っています。2 階は柱形で垂直性を強調しています。外壁は、腰まわりと正面中央に花崗岩を張り、上部は人造石洗い出し仕上げとしています。

銀行時代の内部は 1 階に客溜まりと営業室、奥に建物からはみ出す形で金庫室が設けられ、2 階は支店長室や会議室としていました。内壁は 1 階の客溜りの腰壁が石張り、営業室の腰壁は板張り、金庫室入口周りには大理石を張っています。また、営業室中央に建つ 2 本の円柱よりも玄関側の上部を吹き抜けとして、その周囲にギャラリーを巡らせています。この建物は昭和初期の地方都市の銀行建築の典型として、津島の町並みの歴史的景観に寄与するシンボルとなっています。



<参考> 『愛知県の近代化遺産』愛知県教育委員会（平成 17 年）

愛知県教育委員会生涯学習課文化財保護室  
TEL: 0 5 2 - 9 5 4 - 6 7 8 3  
E-mail: syogaigakushu@pref.aichi.lg.jp

